

Cloud Platform Suite V2 負荷評価モデル

移行前のラックサーバ構成システム(2007年度構築)と比較して、消費電力、CO₂排出量ともに**約72%削減**の削減効果

移行前：ラックサーバ



消費電力

一般的な1Uサーバ※1

342W

サーバ56台(年間消費量※1)

167.8MWh

※1：Express5800/120Rh-1の場合。
1日24時間、1年365日稼働と想定し、算出。

移行後：CPS



消費電力

サーバ8台・仮想サーバ56台
(年間消費量※2)

47.0MWh

※2：Cloud Platform Suite V2
エンタープライズパッケージR2の場合。
1日24時間、1年365日稼働と想定し、算出。

CO₂排出量比較(★)

年間：62.6t-CO₂

年間：17.5t-CO₂

(★) 計算条件：

1日24時間、1年365日稼働と想定。

電力のCO₂排出係数は、0.373 [t-CO₂/MWh] にて算出。

年間 **45.1t-CO₂ (約72%)** の削減

Cloud Platform Suite V2 負荷評価結果

導入により、CO2排出量を72%削減。
主に機器使用による削減に効果大。

